

Noism 設立 10 周年記念  
Noism1 & Noism2 合同公演

# CARMEN

## 劇的舞踊 カルメン

演劇×舞踊から生み出される、愛と死の物語の“物語”

---

演出振付:金森穰(りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督/Noism 芸術監督)

音楽:G.ビゼー〈カルメン〉オーケストラ版&組曲版&交響曲版より編曲

衣裳:Eatable of Many Orders

家具:近藤正樹

映像:遠藤龍

出演:Noism1 & Noism2、奥野晃士(SPAC-静岡県舞台芸術センター)



---

[新潟公演] 2014年6月6日(金)19:00、7日(土)17:00、8日(日)15:00  
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

[神奈川公演] 2014年6月20日(金)19:30、21日(土)17:00、22日(日)15:00  
KAAT 神奈川芸術劇場〈ホール〉

[兵庫公演] 2014年6月27日(金)19:00  
兵庫県立芸術文化センター〈阪急中ホール〉

---

 りゅーとぴあ ×  KAAT × 兵庫県立芸術文化センター 連携プログラム

製作:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館  
協力:SPAC-静岡県舞台芸術センター 助成:一般財団法人地域創造

## 作品について

Noismは、日本初の劇場専属舞踊団として2004年にりゅーとぴあに設立され、2014年4月で10周年を迎えます。その記念企画として、芸術監督・金森穰の演出振付による新作、劇的舞踊『カルメン』を発表します。

2010年に発表した『ホフマン物語』に続く劇的舞踊シリーズの第2弾となる今回のNoism版『カルメン』では、フランスの作家P.メリメによって19世紀に創作された原作小説とオペラ台本からオリジナルの物語を創作。音楽は誰もが耳にしたことのあるG.ビゼーの楽曲と、様々な作曲家による組曲・交響曲から構成します。本作品の衣裳は熱海を拠点に活動するファッションブランドEatable of Many Orders(エタブルオブメニーオーダーズ)、作中に登場する家具や小道具等を木工家具作家の近藤正樹が制作します。

物語のヒロイン、カルメンを演じるのは、Noismを代表する舞踊家の井関佐和子です。Noism設立から参加し、金森穰演出振付作品で常に主要なパートを踊り続けてきた井関は、舞踊家として今まさに円熟期を迎えています。メインカンパニー・Noism1に加え、研修生カンパニー・Noism2も出演、総勢20名の舞踊家によって、劇場専属舞踊団だからこそ可能な集団、時間、空間を最大限に生かした作品となります。

また、今回はゲストとしてSPAC-静岡県舞台芸術センターの専属俳優、奥野晃士が出演、物語の語り手としての学者を演じます。Noismの作品では初となる「舞踊」×「演劇」の本格的な融合を試みます。

人間の営みの根源にある「愛」や「死」というテーマを通し、時代を越えて世界中の人々を感動させてきた『カルメン』。10年という物語を紡いできたNoismによって新たに語られる『カルメン』の“物語”にどうぞご期待ください。

本作品はりゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館×KAAT 神奈川芸術劇場×兵庫県立芸術文化センターの連携企画として、新潟での初演の後、神奈川と兵庫の各劇場で上演します。設立から10年、今なお国内で唯一の劇場専属舞踊団として、国内で有数の文化芸術の拠点である公共劇場と共に、確かなクオリティに裏打ちされた地域発の舞台を目指します。これにより、文化芸術を継承しながら、創造・発信する劇場の役割をはたしていきます。



©Kishin Shinoyama



©Kishin Shinoyama



©Kishin Shinoyama



©Isamu Murai



©Kishin Shinoyama



©Isamu Murai

Noism1 & Noism2 合同公演  
劇的舞踊『ホフマン物語』より

## Director's Note

金森 穰

2013年9月から始まった新シーズンで、Noismは設立10周年を迎えました。この10年間我々は様々な実験を繰り返し、その年ごとの社会を見つめ、その時、我々にとってもっとも意義あると感じた問題提起の上に、作品を創作／発表し続けてきました。そして2014年春、Noismは劇的舞踊『カルメン』を創作します。

カルメンといえばオペラであり、ビゼーの音楽であり、その妖艶な魅力によって男(ホセ)を虜にする女の物語です。ビゼーのオペラによって世界中に浸透したカルメンというファム・ファタルのイメージ。それはもはや原作を遥かに超え、オペラの世界をも越え、世界中の人々にある女のイメージを浸透させました。

しかしオペラの台本はメリメの原作と大きく異なります。勿論メリメの原作においてもホセがカルメンに翻弄される事は変わらないのですが、私が原作から最も強いインスピレーションを得た旅する学者＝物語の語り部の存在はありません。それはメリメという作家の特異性が排除されているといっても過言ではありません。

その特異性とは、作家という虚構の作り手でありながら、歴史家であり考古学者であることによって史実の追究に身を捧げていた事です。

私はNoism版カルメンの創作に際してその語り部役に重点を置き、原作において表現されている、語られた物語の”物語”という虚構の真理を追究したいと思います。

活動10周年を祝う年ではありますが、日本には未だNoism以外に劇場専属舞踊団は存在しません。2016年までの活動が保証されているとはいえ、その先は誰にも解りません。

もしここでNoismがなくなったら？日本に劇場専属舞踊団という文化政策が根付かなかったら？きっと我々の活動はいつか誰かが語る歴史上の出来事、すなわち”ある物語”となるのでしょう。



Photo : Kishin Shinoyama

### 金森 穰 Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督／Noism 芸術監督。ルードラ・ベジャール・ローザンヌにて、モーリス・ベジャールらに師事。ネザールランド・ダンス・シアター II、リヨン・オペラ座バレエ、ヨーテポリ・バレエ他を経て帰国。2004年4月、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。

[www.jokanamori.com](http://www.jokanamori.com)

## プロフィール

### Eatable of Many Orders ≫ ≫ 衣裳

エタブルオブメニーオーダーズ

多摩美術大学で建築を学んだ後アントワープ王立美術アカデミーを卒業した新居幸治と、アントワープ・パリでベルンハルト・ウィルヘルムに師事した後バルセロナでの革工芸経験を経た新居洋子が2007年にスタート。ブランド名の「Eatable=食べられる」は、コレクションテーマについてのリサーチから素材の理解、天然素材の使用、染織や革の鞣しなどの製法への執着を表現する言葉。そのこだわりが1点1点の商品に表れ、独特の素材感やデザインを楽しむ顧客が多い。現在、熱海を拠点にクリエイションを続け、毎シーズン、パリと東京で展示会を行っている。

[www.eatableofmanyorders.com](http://www.eatableofmanyorders.com)



### 近藤正樹 Masaki Kondo ≫ ≫ 家具

1979 年生まれ。大学卒業後、飛騨高山で木工技術を習得。'05 年～'08 年アイルランドの「ジョセフ・ウォルシュ・ビスポーク」にて家具製作。'08 年に静岡県函南町にて工房開設、注文家具と羽のはえた椅子などの作品を作り始める。羊椅子、トールバックチェア、X スツール、スタンドグラス作家櫻井弓子と机や棚、スカロップチェア等を制作。'11 年、銀座 Y's ARTS にて個展「Organic」を開催、新作のコブラ、エイを加えこれまでの作品を発表。'12 年、シンガポールのラッフルズホテル内画廊 Nikei Fine Art にコブラ椅子等を納める。'13 年、表参道ヒルズ内 Kowa Gallery にて個展「Animature」を開催、アルコ、スネイクス、フォーガ、デルタ等を発表。

[www.masakikondo.com](http://www.masakikondo.com)



### 遠藤龍 Ryu Endo ≫ ≫ 映像

1983 年新潟県出身。これまでに Noism の 7 作品で映像を担当し、日々のリハーサルも写真を通して記録している。個人名義の他に'09 年より「mikkyoz」(山倉淳+遠藤龍)として活動。表現方法に写真・映像・音響を用いる。



### 奥野晃士 Akihito Okuno ≫ ≫ 出演

兵庫県淡路島出身。関西で劇団を主宰した後、2000 年より SPAC—静岡県舞台芸術センターに専属俳優として参加。SPAC での主な出演作品に、鈴木忠志演出『イワーノフ』、宮城聡演出『夜叉ヶ池』など。音楽家と共演し、文学作品を使って独自のパフォーマンスを展開する「動読(どうどく)」も好評を得ている。その他、「リーディング・カフェ」の企画・進行など、SPAC のアウトリーチ事業も積極的に行っている。





Noism (ノイズム)

www.noism.jp

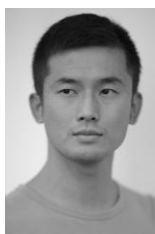
Noism<sup>01</sup>  
ノイズムワン

りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館が舞踊部門芸術監督に金森穰を迎えたことにより、日本初の劇場専属舞踊団として2004年4月設立。新潟を拠点として、日本国内ツアーをはじめこれまでに海外8か国11都市でも公演を行っている。プロフェッショナルな身体性と鋭い問題意識に裏打ちされた作品・カンパニー活動に対する評価は高い。'09年にはモスクワ・チーフ国際演劇祭との共同制作、'11年にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本制作のオペラ&バレエにカンパニーとして参加する等、活動の幅を広げ、今なお国内唯一の公共劇場専属舞踊団として、21世紀日本の劇場文化発展の一翼を担うべく、常にクリエイティブな活動を続けている。第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞受賞。



井関佐和子

Noism 副芸術監督



中川賢



真下恵



青木枝美



藤澤拓也



宮原由紀夫



亀井彩加



角田レオナルド仁



簡麟懿



石原悠子



池ヶ谷奏



吉崎裕哉

Noism<sup>02</sup>  
ノイズムツー

Noism1 付属研修生カンパニーとして2009年9月設立。プロをめざす若手の舞踊家が所属し、毎年春には単独公演を行う他、Noism1 との合同公演として劇的舞踊『ホフマン物語』や『中国の不思議な役人』等に出演。'11年に発表した金森穰演出振付による『火の鳥』はNoism2のレパートリー作品として好評を得ている。'13年のシーズンからは専属振付家兼リハーサル監督として山田勇気を迎え、毎年春夏の定期公演、県内ツアー、そして各種イベント等へも出演している。



専属振付家兼リハーサル監督：山田勇気

メンバー：梶田留以、菅江一路、関祥子、及川紗都、浅海侑加、田中須和子、野崎啓吾、松原広稀



Photo: Kishin Shinoyama (Noism1 &amp; 山田勇気), Ryu Endo (Noism2)

## 公演情報

Noism 設立 10 周年記念  
Noism1&Noism2 合同公演

# 劇的舞踊『カルメン』

演出振付:金森穰

音楽:G.ビゼー〈カルメン〉オーケストラ版&組曲版&交響曲版より編曲

衣裳:Eatable of Many Orders

家具:近藤正樹

映像:遠藤龍

出演:Noism1 & Noism2、奥野晃士(SPAC—静岡県舞台芸術センター)

**チケット発売日: 2014 年 3 月 29 日(土)三都市一斉発売開始!!**

\*3月15日(土)KAme(かながわメンバーズ※インターネットのみ)、兵庫県立芸術文化センター会員先行予約受付  
\*3月27日(木)N-PACmate(りゅーとぴあ友の会)先行発売

## 新潟公演



**2014 年 6 月 6 日(金)19:00、7 日(土)17:00、8 日(日)15:00 全 3 回公演**

[会場]りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

[入場料] 一般 S 席 4,000 円 A 席 3,000 円  
学生 S 席 3,200 円 A 席 2,400 円 (全席指定)

\*学生券は N-PACmate 等の割引と併用はできません。当日受付にて学生証をご提示ください。

[チケットお申込み・お問合せ]

りゅーとぴあチケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521 (11:00~19:00/ 休館日を除く)

[取扱い]

りゅーとぴあオンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

e+ イープラス <http://eplus.jp/>(携帯・パソコン)

セブンイレブン セブンチケット セブンコード:028-580

[主催]公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

# 神奈川公演

**KAAT**  
KANAGAWA ARTS THEATRE**2014年6月20日(金)19:30、21日(土)17:00、22日(日)15:00 全3回公演**

[会場] KAAT 神奈川芸術劇場(ホール)

[入場料] 一般 ¥5,500

シルバー ¥5,000 U24¥2,750 高校生以下¥1,000 (全席指定)

※各種割引チケットは、一般発売以降チケットかながわ電話・窓口のみの取扱い

[チケットお申込み・お問合せ]

チケットかながわ Tel: 0570-015-415(10:00~18:00) <http://www.kaat.jp/>

神奈川芸術劇場(10:00~18:00)、神奈川県立音楽堂(13:00~17:00/月曜休)

[取扱い]

e+ イープラス <http://eplus.jp/>(携帯・パソコン)チケットぴあ Tel:0570-02-9999(Pコード:434-811) <http://pia.jp/t/>(携帯・パソコン)ローソンチケット Tel:0570-000-407(オペレーター対応 10:00~20:00)、Tel:0570-084-003(Lコード:31672) <http://l-tike.com/>tvk チケットカウンター Tel:045-663-9999(オペレーター対応 10:00~18:00) <http://www.tvkcom.net/>

[主催]KAAT 神奈川芸術劇場

# 兵庫公演

# 兵庫県立芸術文化センター

**2014年6月27日(金)19:00 全1回公演**

[会場]兵庫県立芸術文化センター(阪急中ホール)

[入場料] A席 3,000円 B席 1,000円 (全席指定)

[チケットお申込み・お問合せ]

兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255(10:00~17:00 月曜休/祝日の場合翌日)

芸術文化センター2階総合カウンター

[取扱い]

e+イープラス <http://eplus.jp/>(携帯・パソコン)チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:434-690) <http://pia.jp/t/>(携帯・パソコン)ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応 10:00~20:00)、0570-084-005(Lコード:58709) <http://l-tike.com/>

[主催]兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

\*未就学児の入場はご遠慮いただいております。

\*開演時間を過ぎますと、しばらくの間ご入場いただけない場合や、ご自席に着席いただけない場合がございます。予めご了承下さい。



× 兵庫県立芸術文化センター 連携プログラム

製作:りゅとぴあ 新潟市民芸術文化会館 協力:SPAC-静岡県舞台芸術センター 助成:一般財団法人地域創造

## 企画に関するお問い合わせ

りゅとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2 Tel:025-224-7000 Fax:025-224-5626 Mail:info-noism@ryutopia.or.jp

## 公演の開催及び詳細に関するお問い合わせ

新潟公演……りゅとぴあ 新潟市民芸術文化会館 Tel:025-224-7000

神奈川公演……KAAT 神奈川芸術劇場 Tel:045-633-6500 (担当:林・久田)

兵庫公演……兵庫県立芸術文化センター Tel:0798-68-0206 (担当:原)